

利尻礼文サロベツ国立公園の将来目標について (案)

最北の国立公園らしい工夫と演出を行う

- 北方圏の風景を演出し、異国に近い地に来たイメージをもたらしることにより、国内最北の国立公園としての特色をPR
- 例えば、我が国のボーダーに位置することを強調する、人為の少ない景観を見せるなどのほか、海藻アートや漂着物の加工といった特色のある試みを展開
- 漁業、酪農といった地域の産業や、海岸沿いに古くからある漁業集落の景観などを、国立公園の楽しみ方の中に取り込み

様々なポイントからの利尻富士の景観を確保する

- 本公園のシンボルである利尻富士の景観を維持するため、利尻島、礼文島、サロベツ地域、稚咲内海岸などにある眺望ポイントを確保し、眺望しやすい状態を維持
- 主要な眺望地点から利尻富士を展望する際の通景線を保ち、四季を通じて優美なシルエットを楽しめるよう配慮
- 利尻富士をはじめとする広大な自然景観の中でゆったり過ごせることができるよう留意

高山植物だけでなく、野鳥や海棲哺乳類のウォッチングのメッカとしてふさわしい公園にする

- 固有種も多い高山植物のほか、利尻山、礼文島、サロベツ原野等で観察できる野鳥や、抜海港のアザラシ・利札航路でみられるイルカなどの海棲哺乳類について、発信する情報を充実させ来訪者に提供
- フェリーなど公共交通機関内で自然環境情報を積極的に提供

多様な自然地理が楽しめるよう工夫していく

- 火山、湿原、泥炭地、海岸砂丘林、氷河期地形など、公園区域内に展開する多様な地形・地質を楽しめるよう解説ソフトを充実させ、環境学習の場として活用
- 典型的な状態が観察できる地点では好ましい利用に向けた施設を整備
- 併せて、周遊歩道・フットパスの充実により、それらを観察し学習できるよう工夫

自然環境の復元と再生に取り組む

- サロベツ地域の自然再生事業の展開、レブンアツモリソウの保護増殖、利尻島での外来植物駆除活動などにより、自然環境の復元・再生を本格化
- 自然環境の復元状況や再生手法等を環境学習に活用